

● 第2次岡谷市商業活性化計画 重要度・優先度の見直しについて

<資料3>

○ 基本戦略・重点施策の重要度・優先度の見直しに関する協議

令和8年2月2日（月）にワーキンググループによる「基本戦略・重点施策の重要度・優先度の見直しに関する協議」を书面開催し、令和7年10月実施のアンケート結果を基にした新たな重要度・優先度について検討を行いました。

（1）令和8年度 重要度・優先度（案）

基本戦略1 商店街魅力向上戦略					基本戦略2 消費者満足度向上戦略			基本戦略3 商業組織の連携・強化戦略	
重点施策	1.商店の魅力向上に向けた支援	2.新規創業支援	3.空き店舗対策	4.商店主の事業承継支援に向けた取組	5.消費者から選ばれる商店の魅力向上に向けた支援	6.市内店舗などの知名度向上に向けた情報発信の推進	7.市外からの顧客獲得に向けた取組	8.商業会の魅力向上に向けた取組	9.商業活性化に向けた関係者間連携の促進に向けた取組／市内商業者の積極的な事業活動への参画に向けた取組／商業振興に繋がるイベント促進に向けた取組
重要度／優先度 (令和7年度)	A / A	A / B	A / A	B / B	A / A	A / B	B / B	C / C	B / B
見直し(案) (令和8年度)	A / A	A / B	A / A	B / B	A / A	A / B	B / B	C / C	B / B

<重要度>

- A: 取組みを進める上で、集中的に資源投入を行い、課題解決に向けて取り組むもの
- B: マンパワーでの取組みを含め、早急に課題解決に向けて取組みを講じるもの
- C: 各施策の進捗を踏まえて取組みを講じるもの

<優先度>

- A: 改善、解決に向けて取り組むべき喫緊の課題として、最優先に取り組むべきもの（今年度中に何らかの成果を求めるべきもの）
- B: 早急に改善、解決に向けて対処すべきもの
- C: 各施策の進捗を踏まえて検討を行うもの

(2) 令和8年度 重要度・優先度 アンケート結果の詳細

基本戦略1 商店街魅力向上戦略					基本戦略2 消費者満足度向上戦略			基本戦略3 商業組織の連携・強化戦略	
重点施策	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
【重要度】	0.549	0.143	0.212	0.096	0.521	0.326	0.153	0.338	0.662
順位	1	3	2	4	1	2	3	2	1
評価	A	A	A	B	A	A	B	C	B
【優先度】	0.492	0.162	0.272	0.075	0.517	0.326	0.157	0.402	0.598
順位	1	3	2	4	1	2	3	2	1
評価	A	B	A	B	A	B	B	C	B

【基本戦略1】

基本的にはAまたはB評価とする。
重点施策が4項目あるため、A評価とB評価がそれぞれ50%になるように設定。
重要度・優先度が1位または2位の項目⇒A
重要度・優先度が3位または4位の項目⇒B

【基本戦略2】

基本的にAまたはB評価とする。
重点施策が3項目あるため、A評価とB評価がそれぞれ概ね50%になるよう設定。
重要度・優先度が1位または2位の項目⇒A
重要度・優先度が2位または3位の項目⇒B
※2位については重要度・優先度の得票率の高い方をAとする。

【基本戦略3】

基本的にBまたはC評価とする。
重点施策が2項目あるため、B評価とC評価がそれぞれ50%になるように設定。
重要度・優先度が1位の項目⇒B
重要度・優先度が2位の項目⇒C

●基本戦略2の評価方法については『2位については重要度・優先度の得票率の高い方をAとする。』とされているが、2位のP6は得票率が同数(0.326)となっている。今回は1位であるP5の得票率に着目し、重要度の方が高い数値(0.521>0.517)となっていることから、P6についても重要度を高く評価しA、優先度をBとして参りたい。(結果、前年度から変更なし)